

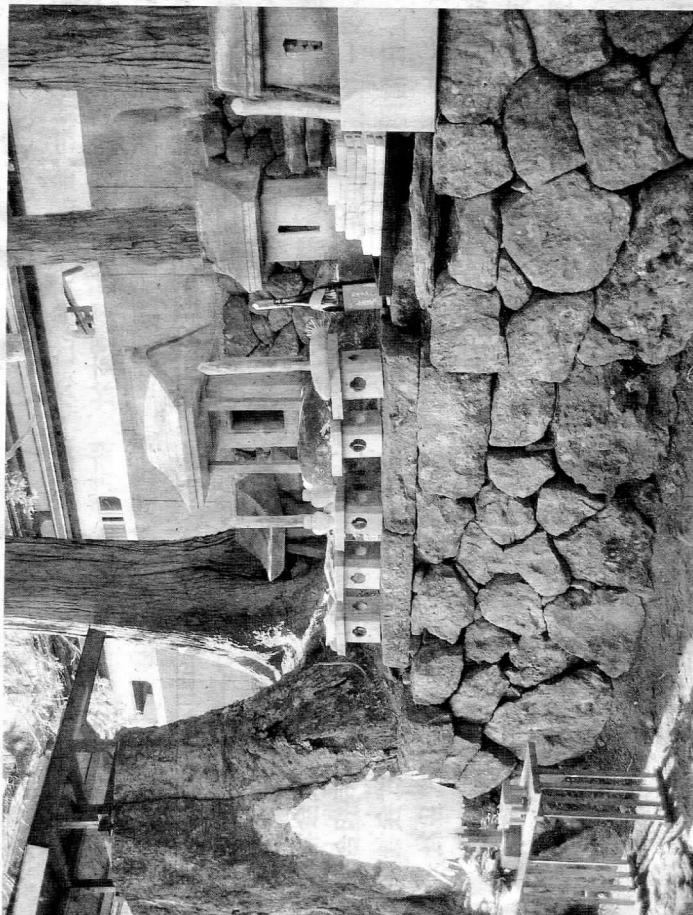
後世に遺す意気込み

かつて蚕糸業に関わる先人たちは、暮らしを支える蚕を「お蚕様」と呼び、蚕の神様に蚕作祈願し、蚕に感謝して供養し、手を合わせてきました。ところが、その後の養蚕業の衰退と新たな産業への転換が図られる中で、「養蚕譲」や「蚕玉譲」が解散、そのまま放置されてしまった碑や祠も多く見られます。

しかし、大社上社本宮のおひさ元の中洲神宮寺南町は違います。町内の若宮八幡社の境内に「蚕玉社」が祀られています。木造で築70年以上のため老朽化したので建

て替えたのです。「養蚕が盛んだつた歴史を伝える祠を後世に遺そう」という意気込みです。諏訪6市町村に149基の蚕神を確認しましたが、建て替えを行ったのはここだけです。

石は、地元産の神宮寺石が寄贈されました。神宮寺石は、少しあずき色を帯びています。掘りつくされて今はあります。柔らかくて細工いやくしがも腐蝕するところなどなどと言われています。刻んだ文字が、はつきり残るという事で諏訪地方の墓地に多く見る事ができます。湯の脇の温泉寺上の高



養蚕が盛んだった歴史を今に伝える諏訪市中洲神宮寺南町の蚕玉社

今回の筆者

小野川恵美子さん

外国人住民に日本語学習の支援をするボランティアサークル「諏訪日本語教室」の代表を務めています。



島瀬の御廟所にも数あります。新しい蚕玉社の石祠の背面に「奉納 古河一浩 石工 北原大貴」とあります。鎮座祭では餅投げが行われ、蚕玉様の熨斗をつけた紅白の餅が全戸に配られました。

詳しい場所などの問い合わせは諏訪塾事務局（電話070・83323・2107）へ。

- ・ ぶらり諏訪塾の冊子は諏訪市觀光案内所
- ・ (JR上諏訪駅内)
- ・ れすとらん諏訪いすみ屋 (諏訪市諏訪)
- ・ 書店「言事堂」 (諏訪市末広)
- ・ すわ大昔情報センター (諏訪市博物館内) で販売中です。

